



② 粋に、切なく、激しく!=青嵐(準大賞)③「和」の創造=VOGUE603(準大賞)④ 熱いエネルギーを感じて=満天(新人賞)⑤ 祭り当日の朝。市バス車内にて⑥ 本番を前に準備する踊り子たち⑦ 魅せます! 舞います! 百人単弥呼!=百花繚乱

フォトレポート
第12回
Yosakoi
やせほ 2019
10月23日→25日



一舞、入魂



① 3年ぶり2度目の大賞に輝き、歓喜の踊りを披露する長崎大学「突風」。
学生チームが踊りを競い合う「青春グランプリ」の初代グランプリにも選ばれました。



第1回YOSAKOIさせほ祭りで演舞を披露する「上京町喧嘩独楽」の踊り子の皆さん

⑧ 大会を支える学生ボランティアスタッフ⑨ 魂の叫び=佐世保よかよかかちえる隊⑩ 踊り子に観客も加わり祭りを締めくくった総踊り

一本のビデオテープから
平成9年のある日、佐世保中央商店街の有志が開く「若者・馬鹿者・よそ者夢会議」に「YOSAKOIソーラン祭り」のビデオテープが持ち込まれた。それを見たメンバーたちは札幌まで足を運び、生のよさこいを体感し、思った。「佐世保でもこんな祭りを開きたい」
佐世保に帰ったメンバーたちは、すぐその年の「おくんち佐世保まつり」に向け、「さるくCity403遊歩隊」と「上京町喧嘩独楽」を結成。佐世保でよさこい形式の踊りが初めて披露された。翌年には、先の2チームに「本島町勇獅子」「あっぱれ青組」「親和銀行」「平戸風神社中」が加わり、6チームで「第1回YOSAKOIさせほ祭り」(当時の名称はダンスバトル)が、市内3会場で開催された。「佐世保を何とか元気にしたい」というメンバーたちの思いが形になり、YOSAKOIさせほ祭りの第一歩がここから始まった。
12回目となる今回の祭りのテーマは「二舞、入魂」。全国から過去最多となる158チーム約7千人が参加し、観客数は約24万人に上った。